

【戦略2】水田農業の収益性の向上

「つや姫」や「雪若丸」等の県産米全体のブランド振興、スケールメリットを活かした低コスト化等により、水田農業の競争力強化と収益性向上を目指していく。

(1)-① 県産米ブランド化戦略プロジェクト

【目標指標】

目標指標	現状値	H29目標値	H32目標値
「つや姫」の価格ポジション	魚沼産コシヒカリに次ぐ(H28)	魚沼産コシヒカリに次ぐ	魚沼産コシヒカリに次ぐ
「雪若丸」の作付面積	10ha (H28、試験栽培)	35ha	1,700ha(H30)

【29年度の主な取組み】

戦略に基づく、オール山形体制による県産米ブランド化の推進

○つや姫のブランド化戦略の推進

- ・高級感のあるCMの放映(10月～3月)、東京都銀座の百貨店における知事のトップセールス(10月)などPR活動の実施
- ・つや姫の水田の美しさに着目した「美しい『つや姫』づくりコンテスト」を開催し、産地の取組みをPR



○雪若丸のブランド化戦略の推進

- ・栽培マニュアルの策定や研修会の実施等
- ・ロゴマーク、キャッチフレーズ、米袋デザインの作成(7月)
- ・先行販売イベント(9月)など各種イベント等による情報発信



○県産米の品質・評価の向上

- ・特A獲得のための実証ほ設置等による高品質・良食味安定生産の推進

(1)-② 需要に応じた米生産対策推進プロジェクト

【目標指標】

目標指標	現状値	H29目標値	H32目標値
県で設定する生産目標達成率(H30以降は県再生協議会での設定を想定)	100% (H28)	100%	100%

【29年度の主な取組み】

○需要に応じた米生産の推進

- ・「平成30年産以降の需要に応じた米生産の基本的な考え方」を基に、8月頃までに需要に応じた米生産にかかる具体的な推進方策を検討(「需要に応じた米生産に関するワーキンググループ会議」:3回開催)
- ・上記検討後、県内ブロック別説明会開催(9月)、啓発チラシの作成・配布(9月)、30年産米の「生産の目安」の提示(12月)
- ・平成29年産の需要に応じた米生産に向け産地交付金など国の交付金を活用した主食用米以外の作物作付を推進

○飼料用米の生産・利用の拡大

- ・県内での新たな需給マッチングと既存マッチングの広域化を推進(「飼料用米利用拡大シンポジウム」の開催:7月)
- ・飼料用米の生産拡大のための保管庫整備、低コスト利用のための粉碎・混合施設や機械の整備を支援



(2)-① 水田農業低コスト化基盤整備促進プロジェクト

【目標指標】

目標指標	現状値	H29目標値	H32目標値
大区画ほ場整備面積(累計)	3,160ha (H27)	3,500ha	4,000ha
担い手の米の生産コスト(基盤整備実施地区)	22億円/年 (H27)	20億円/年	13億円/年

【29年度の主な取組み】

○水田農業の低コスト・省力化に向けた基盤整備の推進

- ・農地整備事業により、農地の区画拡大・用排水路の地中化等により低コスト・管理の省力化を実現
⇒H29は13地区226haの生産基盤を整備
- ・農地中間管理事業との連携により農地集積・集約化を促進し生産コストを低減
⇒米の生産コスト▲2億円/年を実現

- ・GPSを活用した直播栽培技術の実証試験(西郷北部)
- ・区画拡大による営農機械の大型化

